

七小校長室便り

開校52年目

国立市立国立第七小学校

校長室便りNo.7 令和6年(2024年)10月15日

充実の秋を迎える中で。

夏の暑さが日によって戻ってきたり、急に涼しく、時には寒さを感じたりするような10月となっていますが、季節の変わり目で体調管理が難しく、子供たちも大人も風症状等があることでお休みや体調不良が多くなっているところとなっています。10月19日(土)には、運動会も控えていますので、十分に気を付けて過ごしてほしいと思っています。

さて、9月30日(月)の全校朝会にて、様々な取組や活動の中で挑戦し、自身の成果として表彰状を受けた子供たちがいましたので、全校朝会において、改めて表彰状を渡し、全員で拍手を送りました。



1つは、国立市スポーツ大会で、七小育成会ソフトボールの選手として出場し、女子の部で準優勝になった子供たちと、優秀選手となった6年1組の田部井 佑唯さんを表彰しました。七小育成会の皆さんの下で懸命に練習し、当日は、自分たちの力を発揮して、準優勝となりました。

その中でも頑張りを見せた田部井さんに優秀選手として賞状が贈られました。最高学年としての力を地域でも発揮して、七小の子供としての力を見せてくれました。

もう1つは、9月25日(水)に国立芸小ホールにて、国立市科学に関する自由研究発表会が開催され、各校の6年生の代表1名が発表しました。本校からは、6年2組の中井 優輔さんが、夏休みの自由研究として取り組んだ「10面体サイコロとルーレットの比較実験」について、発表しました。たくさんの人たちや審査員の方々が見ている前で発表することは、とても緊張することであり、貴重な体験の場となったことと思います。代表となったことで優秀賞の賞状が贈られました。

以上のように、学校や地域で様々な取組や活動に参加している子供たちの頑張りに対して、できる限り学校としても応援し、全校児童の皆で表彰ができる時には、行っていききたいと思います。



授業観察と面談

学校では、校長と副校長で、年間、2回から3回程度、先生方の授業の様子を観察し、面談をする機会を設定しています。学期ごとに行う予定となっているので、教員数が多い本校では、9月から始めても、全ての先生方の面談や授業観察を終えるには、複数ヶ月の時間がかかります。今がその時期でもあり、先生方の授業を見たり、面談をしたりと結構忙しい時となります。各先生方が教員として身に付けることにおいては、時間も年数もかかることが多く、それぞれの先生方の立場の違いによっても、取り組む内容や活動が違ってきます。立場の違いには、職というのがあり、職名として、教諭・主任教諭・主幹教諭と指導教諭という風に、各自が職の内容を理解して、学校の教育活動を行っていきます。

また、校務分掌と呼ばれる役割分担があり、例えば、教務・生活指導・特別活動・校内研究などの名前は、聞かれたことがある方もいると思います。更には、体育や情報教育、特別支援には、委員会を設置していますし、その他にも、その学校に必要な部署や担当を割り当てています。

以上のような各教員の職や役割において、先生方は、各年度において目標を立てて、教員としての能力や知識を高めていく努力をしています。授業観察と面談では、各先生方の取組について、年間の目標を確認したり、どの程度取組ができているか等の状況の共通理解をしたり、指導や助言を行ったりしながら、学校全体の教育力を高めるようにしています。

学校では、学校便りや学年便り等で学校や子供たちの取組をお知らせしていますが、上記のような教員の取組については、なかなかご存じになれないところかと思っています。校長室便りでは、学校のあまり知られていないところをお伝えできればと思っています。

先生方のそれぞれ担当している部署や取組の職務内容等を学ぶ努力を通して、日々の教育活動が様々な検討され、立案・計画の基に実施していることをお知らせできればと思います。今回は、このような内容でお伝えしました。



自閉症・情緒しょうがい特別支援学級 くるみ学級の取組から

特別支援学級・くるみ学級が令和3年に設置されてから、今年度で4年目を迎えています。国立市内においては、国立第二小学校に設置されている特別支援学級のプラタナスに次いで、2校目の開設でした。現在は、国立第六小学校の特別支援学級のフレンドと合わせて、3校となりました。多くの子供たちや保護者の皆様のニーズがとても高く、市内にある小学校8校の内、3校に設置されていることから、その高さの度合いが分かります。

くるみ学級では、集団での取組が苦手な子供や、情緒的なコミュニケーションやスキルに苦手さを感じている子供等に対応した教育活動を展開し、その子がその子らしくいられる教育を目指し取り組んでいます。4年目を迎える中で、現在は、くるみ学級と通常の学級との交流学习や共同学習の機会が増え、通常の学級の中での学びに取り組んでいる子供たちがいます。また、これまでと同じように、くるみ学級の中での学びを大切に取り組んでいる子供や、両方のバランスを考えながら取り組んでいる子供がいます。

くるみ学級では、それぞれの子供の発達段階や状況を確認しながら、必要な手立てについて、子供や保護者の皆様と確認をし、未来の社会において、自分らしく生きるために必要な力を身に付けさせることを大切にして取り組んでいるところです。

国立第七小学校には、特別支援教育に力を注ぎ、懸命に子供たちを育てようとしている先生方が多くいます。なかなか思うようにいかないこともたくさんあり、子供たちに安心と安全の居場所としていくには、これからも多くの努力を要するところですが、国立第七小学校の特色ある教育活動の1つとして、大切に発展させてまいりたいと思います。これからも、ご理解とご協力、ご支援と激励をお願いいたします。

子供たちは、教員の鏡

子供たちを育てるためには、私たち教員が成長していくことが大切です。よく言われることではありますが、子供たちは、教員の鏡でもあります。私たちが成長していくことで、子供たちも成長していきます。そして、子供たちの成長が私たち教員の喜びややり甲斐となり、私たちの学びや取組の活力となります。また、教員自身の成長に向かって努力していくことができるようになる、と私は思っています。本校の先生方の活力ある頑張りにより、七小の子供たちのよりよい未来に繋がるよう努めていきます。

七小見守り会に対して国立市から市民表彰が贈られます！

本校の児童の登校時の見守りを、10年来に渡り取り組んでいただいている「七小見守り会」に対して、国立市より市民表彰が贈られることになりました。

今年度の1学期にも、警視庁より感謝状が贈られ、永見市長の同席の下、学校の全校児童でお祝いと感謝の会を開催したところではありますが、今回の国立市からの市民表彰贈呈についても、心からのお祝いと最敬礼をもってお伝えするとともに、学校において、再びお祝いと感謝の会を開催したいと思っております。



国立市からの市民表彰の贈呈は、11月4日(月)国立市の秋の市民まつりである天下市の場で行われる予定です。詳細が分かりましたら、また改めてお知らせいたしますが、できましたら、多くの方にお越しいただけるようであれば、一緒にお祝いをしていただけましたら、幸いです。

七小見守り会の皆様が、本校の地域の代表として、本校児童の安全と安心に多大なる貢献をされていることに、本校児童や保護者、PTAの方々、もちろん教職員においても、誰もが感謝と尊敬の思いをもって関わらせていただいております。これからも、本校の児童のためにご尽力いただき、安全と安心が更に高まっていくよう、しっかりと連携を図りながら、共に子供たちを育ててまいります。どうぞ、これからもよろしくをお願いいたします。

【校長のつぶやき】

今回のつぶやきでは、総合的な学習の時間が始まる頃のことについて、お伝えしようと思っておりましたが、紙面の関係上、難しいようでしたのでつぶやきという題名の通りに、つぶやこうと思います。

ある時、ある職員と話をしていた時に、プレイステーションのゲームをしていたことやYouTubeでゲーム実況をよく見るんだよ、と話をする、とても意外な一面という風に捉えられたようで、私としては、そのことが逆に意外に思っていました。これまで、私は、よく先生方に自分の家族のことやプライベートなことを話す方でしたので、ファイナルファンタジーシリーズに熱中していたことやアニメをよく見る等、既に話したように思っていました。人は見かけによらないということでしょうか。人を見ることの見方や捉え方は、自分が思っている以上に違っていることを再認識しました。もっと話せることは話していこうとも思いました。

【本当に取り留めのない話です。ご容赦を。】